カトリック大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

9

〔ミサ時間〕主日ミサ:(土)19時／(日) 7時・9時30分／英語ミサ(日)16時
〔ホームページ〕http://church.jp/catholic-daimyoumachi/
〒810-0041　福岡市中央区大名2-7-7　〔巡〕能古島カトリック教会　ミサ(土)18時
TEL:092-741-3687　Fax:741-5107　〒819-0012　西区能古弁当 1621-12
発行責任者:杉原寛信神父

福岡教区年間テーマ：信じる喜びから　伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！
Be the light of Christ to everyone.

【９月の予定】
1日（日）：被造物を大切にする世界祈願日
・教会学校始業式
8日（日）：長寿の祝い
15日（日）：納涼祭（16：00）
29日（日）：世界難民移住移動者の日（献金をお願いします）

【10月ロザリオの月　予定】
＊福音宣教のための特別月間
1日（火）：聖テレジアおとめ教会博士（小さきテレジア）
2日（水）：守護の天使

7月14日（日）、大名町教会の巡回教会がある能古島へ教会学校の子ども達と保護者、リーダーの総勢52人でファミリーサマーキャンプへ。

勉強会

杉原　寛信　神父
毎週木曜日
10:00 キリスト教入門
14:00 聖書の分ち合い
19:00 キリスト教入門

被造物を大切にする世界祈願日
9月1日
＊家庭ゴミ　考えてみよう！

◇キリスト教講座第Ⅰ期が始まります。
・水曜コース：９月４日　19:00から
・金曜コース：９月６日　10:00から
＊キリストの光に気づくために！
＊どなたでも参加できます。

ゆるしの秘蹟：９月７日（土）・21日（土）・10月５日（土）　10時から 小聖堂／日曜日 8時45分

「喜びに喜べ④」

「喜びなさい。大いに喜びなさい」聖性への招き。

神と隣人への愛を示す五つの重要なこと。聖なる人とは：：

①辛抱、根気、柔和

神を中心に据えた内的堅固さをもち、他者の攻撃や欠点に辛抱し、人の過ちに文句を言わず、兄弟姉妹の欠点に口を閉ざし、辱しめを受けることによりイエスに似た者となる人。

②喜び、ユーモアのセンス

不機嫌でなく、悲しみに引きこもらず、分かち合う喜びとユーモアのセンスをもって生き、前向きに希望を持つ人。

③大胆さ、熱意

安全地帯に留まる誘惑や、慣習という惰性から飛び出し、福音宣教の機動力である大胆さをもって生きる熱意ある人。

④共同体の中で

他の人と隣り合って霊的成長の道を歩み、「練り鍛え」られるために、みことばの分かち合いと感謝の祭儀を通して兄弟姉妹のきずなを強め、聖なる宣教共同体に生きる人。

⑤たえざる祈り

神とのつながりに必要な祈り、みことばが最大の力を発揮する感謝の祭儀を大切にする人。

「私」の姿が重なっているでしょうか……？

大名町カトリック教会
主任司祭　杉原　寛信　神父

愛の神よ、
地球上のすべての被造物へのあなたの愛の道具として、この世界でのわたしたちの役割をお示しください。
あなたに忘れ去られるものは何一つないからです。
無関心の罪に陥らせず、共通善を愛し、弱い人々を支え、わたしたちの住むこの世界を大切にできるように：
あなたの力と光でわたしたちをとらえてください。あなたはたたえられますように。
アーメン。

「信者であろうとなかろうと、今日、地球は本質的に共有の財産であり、その実りは誰にとっても有益なものであるということに同意します。」
Laudato Si, 93, Pope Francis

EARTH：地球
ACTION
INITIATIVE

Sponsored by WUCWO：主催　世界カトリック女性団体連盟

To all schools, service clubs, and Church organisations:
すべての学校、奉仕クラブ、教会組織へ：

CHOOSE ANY SATURDAY IN SEPTEMBER, 2019
2019 年 9 月の土曜日を選んでください

行動を起そう：私たちの海を破壊するプラスチックと有毒廃棄物の危機に直面して、湖や川、世界のすべての人々が地球の水へのこれ以上の損傷を排除するために行動することを求められています。資源とすでに受けた被害を一掃するために。

すべてのいのちは相互関係にあります。 同様に、私たちの水道システムに入る汚染物質の大部分が陸上での活動に起因しているという点で、すべての汚染は相互に関連しています。海岸線や遠くの内陸に沿った人間の活動は私たちの海の健康に影響を与えます（米国海洋大気庁）。

14 億ポンドのゴミが毎年海に捨てられています。（シーワード）	70%の産業廃棄物が、水に捨てられた。（ナショナル・ジオグラフィック）	200 万トンの下水、工業用農業廃棄物が毎日、世界の水に排出される。（国連 WWAP）	毎年、戦争を含むあらゆる形態の暴力よりも危険な水で死亡する人が多い。（国連 – 人生の 10 年の水）

あなたが わたしができる事：

- 最寄りの海岸、湖畔、または川岸で、また道路や溝に沿って、公共の場でプラスチックやゴミの清掃イベントを開催しましょう。
- プラスチック廃棄物危機について一般の人々に教育するイベントを開催しましょう。
- 廃棄物が水系に入り込む可能性がある環境条件の影響を受けやすい地域では、より良い埋め立て処理を推奨してください。
- 使い捨てプラスチックの排除と、使い捨てプラスチックの再利用とリサイクルを推進する。

・自分のやり方を変える

1) あなた自身のプラスチック製品の使用を減らす。
2) できるだけ頻繁にあなたのプラスチック容器を再使用しなさい
3) 使用できなくなったプラスチックをリサイクルします。
4) リサイクルする前に、プラスチックが汚染されていないことを確認してください。

2019年の9月1日（日）は、「被造物を大切にする世界祈願日」です。回勅『ラウダート・シ――ともに暮らす家を大切に』（2015年）で、全世界の人に向けて、エコロジー（自然保護）に取り組むよう訴えた教皇フランシスコは、東方正教会にならって、環境保護のための助けを願う日をカトリック教会の暦に加えました。これが、9月の第1日曜日を「被造物を大切にする世界祈祷日」となりました。この中で、教皇様は上記のように祈りを示してくださっています。

右記のメッセージは、バチカン公認の女性団体からの呼びかけです。今、わたしにできることを探したいと思います。

大名町カトリック教会のおもてなし

今日のロビーでは、小さくされた人々に寄り添い続ける「礼拝会」のシスター方が開くミニバザー。修道院で育てたひまわりもいかが・？

「ご協力ありがとう」、「シスターのご奉仕ありがとうございます」。

「セント・ポール」大名町教会を始めて訪れる人が「あっ、教会だ」と安堵するところでしょう。笑顔のシスターが、待ってます。中には、信心のためロザリオやメダイ、0歳児から司祭方、学者まで必要な書物も多彩です。どうぞ、お寄りください。

主日のミサで派遣されて、1階ロビーに下りてくると夏は冷たく冬は温かいコーヒーと、ちょっとクッキーが待っています。

このコーヒーサービスが行われるようになって約15年。ご高齢になった発起人の黒崎さん夫妻の後継者のボランティアも楽しそうです。お代は？ 小さな缶があります。ロビーは、コーヒーとクッキーを手に皆さんのおしゃべりの輪が広がります。教会学校が終わった子どもたちが降りて来ると、一層の賑わい。その賑わいの中にキリストがお座りじゃないですか？

大名町教会8月の現勢

【転出】　お元気で（…教会へ）
・マリア　谷川　典子
（大阪教区海南教会）

教会学校が能古島へファミリー・サマーキャンプ　テーマは『光』！

7月14日（日）、年間第15主日でルカ福音書が読まれ「神である主を愛し、隣人を自分のように愛しなさい」と呼びかけをいただいたミサの後、52人で目的地の能古島へ出向きました。能古島のアイランドパークでは、子どもたちが、家族や友達に囲まれながら食事、スイカ割り、アスレチックを楽しみ、お互い輝くような時間を過ごすことができました。

能古島の教会へ移動。「僕たちが神さまの愛を忘れる事がありませんように」と高校生が祈っていました。子どもたち皆が「神さまに愛されている」と感じる一日でした。

惜しみない神さまの光を受けて、私たちが輝くとき「世の光」となれます。

神さまから愛されている自分自身を、何よりも大切に思い、家族や友達と支え合うこころを育んでいけたらと思うキャンプの一日でした。　リーダー

今回のキャンプを通して、とてもいい経験をすることができました。バーベキューやスイカ割りも楽しい一日でした。

福岡の市街地から船で10分くらいの能古島にもカトリック教会があることを知ったことは嬉しいことでした。あの高山右近が秀吉から一時逃れた島?、とも聞いた能古島の小さな教会ですが、今も繋がってお祈りがされているのだな、と実感できました。　高2　柴田一冴

能古島教会の聖堂

◆小学生の声

・夏のキャンプは、バーベキューもアスレチックも、全部楽しかった！

4年生　藤原　奈琉歌

・能古島の大きな木に取り付けてあるブランコに乗ったことが楽しかった！

4年生　グエン・バオ・ミン

・キャンプで一番嬉しかったのは船に乗ったことです。大きなブランコも、おもしろかった。

4年生　浜崎　宗一郎

・ぼくはスイカ割が一番楽しかった。

2年生　藤原　海史

・スイカ割が楽しかった。船も乗ったけどバスも乗ったよ！

1年生　浜崎　俊太郎

小さき花の会

「聖書通読会」

・9月15日（日）ミサ後、1F講堂奥

・通読個所：出エジプト記25章から

「ミサ奉仕」

・第2週目　ロザリオ先唱、奉納

ロザリオ先唱は9時から始めます。

・第3週目　奉納

日頃からのミサ奉仕のご協力有難うございます。

引き続き、これからも宜しくお願い致します。

博多にきんしゃい！　今年も！

今年も8月4日（日）、福島から「福島支援実行委員会」の招きで15人の子ども達が来福。この日、大名町教会のミサに参加、共に祈りました。ミサ後、講堂で歓迎と交流会、福島の現状の報告もあり、「一向に進展していないね」とフロアからの声。支援は継続ですね。

教会委員会

８月４日委員会

検討事項

1　教会規約の改正について
・各項目について、意見交換を行う。
①教会委員会の名称を評議会に変更。
②受付（事務室）職員の定年制について。
受付の休みの明記について。
③小教区とカテドラルの事務作業の明確化。
④運営規則の目的に、福音宣教を明確にいれる。

2　教会委員会委員の改選について
①委員の任期は、今年度で満了となり、選考委員会を11月より立ち上げる
②新年度の始まる第一日曜日のミサ終了時に、新委員を紹介をする

3　駐車場の許可制導入について
①信徒のアンケートをいただいたが、様々な問題をクリアーできず引き続き検討していく。

報告事項

1　来期の教区への予算請求について
①大規模営繕工事の予定がないので、申請はしない。

2　長寿の祝いについて
・９月８日（日）。75歳以上の信徒に案内状送付済。

3　納涼会日程
・９月15日16時より実施。
ポスターを掲示し、多くの方の参加を呼びかけ、英語ミサの人たちとの親睦を深め、建物維持のためのバザーも実施。協賛の依頼と参加をお願いします。

4　七五三祝福の日程
・11月10日（日）。

5　街頭募金の日程について
・12月第一日曜日。

6　成人の祝福式・新年会の日程
・２０２０年1月12日（日）。

7　受付前の献金投入箱が使用可。お知らせにて案内済。

8　ＬＥＤ工事について
・第１期工事終了。１階ロビー照度アップにより、掲示板蛍光灯設置はしない。
・小聖堂オルガン付近の照明の設置については、ＬＥＤ工事の終了後確認。

9　印刷機について
・新しい印刷機を購入しました。

各部からの報告

【典礼部】
①来日が予定される、教皇フランシスコ訪日記念展について
・教区主催による記念展を大名町教会にて開催予定。実行委員会への協力要請と信徒へのボランティア募集の説明あり。
・この企画を、福音宣教の機会とし内外へのＰＲを促進する。

【広報部】

1　ホームページについて
①ウエブサーバーを９月上旬に新しく切り替え予定。

【教会学校】

1　サマーキャンプについて
①７月14日（日）能古島にてサマーキャンプを実施。子ども29人、大人23人参加。実りあるキャンプの報告あり。

会長のつぶやき

いのち燃ゆ！

♭　主よ、あなたの呼ぶ声が遠くから、主よ、あなたの呼ぶ声が聞こえてくる。♯

たくさんの人の声、呼びかける声、助けを求める声、大きな声、小さな声、笑い声、悲しむ声、お怒りの声、そして喜ぶ声、家庭の中で、職場で、学校で、そして教会で聞こえてくる。教会には様々な共同体の印刷物としての声も掲示されている。古いもの、新しいものなどなど。最新のものはミサ後に呼び掛けられるお知らせ。私たち信徒にとって、この１週間、１か月の、信仰生活のための、大切な声と情報である。

礼拝会のシスター藤田から呼びかける声が聞こえてきた。バザー開催による信徒へのお願い。それは礼拝会修道会の使命と情熱であった。女性の会の会報モニカ、そこにも女性の会一人ひとりの宣教への熱い声が響く。全世界で、貧しく弱い女性のために働く礼拝会のシスターの皆さん。そして全世界に及ぶカトリック女性の会のみなさん。ともに女性のきめ細やかさと母のやさしさ、そして厳しさを通して、マリア様のような、主に仕える従順さを感じさせられる。

イエス様は『わたしが来たのは、地上に火を投ずるためである』といわれた。弟子たちの、『あの時、私たちも燃えていたではないか』と互いに認め合った言葉が思い出される。フランシスコ教皇来日の企画に向け、使徒的勧告『喜びに喜べ』を読み分かち合う信徒、全世界の平和の使徒、教皇様の来日を心から喜びＰＲする様々な計画などなど。学びと祈りと奉仕を通して、静かに信仰共同体が燃え始めた。『ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り』を捧げ、福音宣教のための特別月間を、『すべての人にキリストの光でありなさい』との燃える命を、声と行いで届けることができますように。

実りの秋、収穫の主に願いましょう。アーメン。

大名町教会信徒会長
濱崎　公夫